

働き方改革の論点

③ 限定正社員への期待

12/23 2015-4/29

時事解析

費者の購買力も高まる。

労働政策研究・研修機

構の濱口桂一郎主席統括

研究員は著書「日本の雇

用と中高年」のなかで、

この雇用形態が、若者を

動務地に限られたり、労

働時間が短かたりする

「限定正社員」だ。

この雇用形態はいつ

か長所がある。非正規に

比へ雇用は安定し、賃金

増も見込みやすい。子育

社員の普及へ向けた報告

書をまとめた。トランプ

など、労働時間や勤務地

防止のため企業に、職務

や勤務地、

勤務時間を

どのように

「限定」するか明示する

員として勤めやすくな

よう求めた。

限定正社員は一般の正

社員に比へ雇用保障を緩

なかも非正規社員の

めるべきだと経済界は要

望している。だが報告書

役割に期待が高い。総務

省の労働力調査によると

所が閉鎖されたなどの場

合でも、企業は限定正社

員をすくへ解雇できず配

は13年に平均年収が47

置転換の努力が求められ

3万円あるが、非正規社

員は168万円と差があ

のルールをめぐって今後

る(国税庁調べ)。限定正

社員への移行が進めば消

(編集委員 水野裕司)

議論を呼び起こす。